

教 職 員 活 用 ガ イ ド

小学生向け交通安全教育 DVD

基本的な自転車の交通ルールを定着させる



JA共済
<http://www.ja-kyosai.or.jp>

本ガイド・DVDはホームページからも
ダウンロードできます。

JA共済は「安心」と「信頼」で地域をつなぎます。

JA共済は地域貢献活動を通じて、地域の皆さまが安心して暮らせる豊かな環境づくりを目指しています。これからも人と人が助け合う相互扶助の精神のもと、「交通安全」や「健康・福祉」など、生活に関わる幅広い活動を通じて地域社会に貢献していきたいと考えています。

全国共済農業協同組合連合会

監修：一般財団法人 日本交通安全教育普及協会

JA共済

はじめに

本DVDは、小学校中学年の児童を対象とした、自転車における基本的な交通ルールを定着させるための教材です。親しみやすいキャラクターがナビゲーターとして、道路上で予測される危険や、自転車の安全な乗り方などをわかりやすく伝えます。小学生の交通安全教育のために、授業や朝の会、授業参観などでご活用ください。



DVD収録内容および本ガイド、おさらいシートはホームページからもダウンロードできます。

ダウンロードはこちら ▶▶▶ <http://www.ja-kyosai.or.jp>

H24.6月



本編のナビゲーター
ルー(左)と、ル(右)

DVD INDEX

Chapter	内容	時間
Chapter 1	こんな時に起きている! / 小学生の交通事こ	約2分
Chapter 2	きけん予そく / 友達の家に安全に行けるかな?	約5分30秒
Chapter 3	実験/点けん / ヘルメットと自転車点けん	約4分
Chapter 4	きけんな運転 / ルールとマナーを守って安全運転	約5分30秒
Chapter 5	クイズ / わかるかな? この標しき	約2分
Chapter 6	歌とおどりで覚えよう! / ぶ・た・は・しゃ・べるラップ!	約1分30秒
Chapter 7	まとめ	約1分

指導のシーンに応じた本教材の活用例

本DVDは全7編に分かれており、コピーしてご使用いただける専用のおさらいシート(別紙)を添付しています。1時間単位の授業のほか、朝の会など短い時間でも活用することが可能な仕様となっていますので、下記活用の例をご参照のうえ、授業のご都合に合わせてご利用ください。



授業での活用例

小学生は集中力の持続時間が短いため、2回に分けての活用をおすすめします。1回ごとに、DVDのポイントを伝え、ディスカッションや質疑応答の時間を設けましょう。

1回目

約11分30秒

DVD視聴
Chapter 1
Chapter 3

自転車走行における基本事項、安全な走行と危険行為、点検など、自転車乗車時の心構えを身に付けるための内容です。自転車は車の仲間であることを認識させましょう。

約15分

ディスカッション

DVDの内容をもとに、児童が自発的に行動を振り返り、危険行為の反省、正しい自転車の乗り方を理解できるよう促しましょう。

約10分

まとめと補足

DVDの要点(P5~6参照)を伝えます。理解度や安全意識の定着化に配慮しながら進めましょう。

2回目

約10分

DVD視聴
Chapter 4
Chapter 7

重大な事故を招く可能性が高い危険行為、思いやりを持った運転、注意したい標識について学びます。1回目の授業から1週間以内には視聴し、視聴前に前回の振り返りをしましょう。

約10分

おさらいシート学習

前回の復習も兼ねて、おさらいシート学習を行います。

約15分

まとめと補足

児童の答えを挙手などで確認し、各設問の解答を正確に伝えます。誤答が多い設問は重点的に指導し、おさらいシートは持ち帰って保護者といっしょに確認するよう促しましょう。時間に余裕がある時は、Chapter6の歌と振り付けから、重要事項を再確認させましょう。

朝の会での活用例

短い時間を活用して、DVD視聴4回、おさらいシート学習1回など、1週間かけて行う学習方法です。毎回、前回の振り返りとまとめは必ず行いましょう。

月	約7分30秒 Chapter 1 Chapter 2	場面に応じた安全な自転車走行と危険行為について、児童の認識を高めるよう指導します。
火	約4分 Chapter 3	ヘルメットの重要性と、自転車に乗る前の点検のポイントを指導します。DVD視聴後に復習を行ってください。
水	約5分30秒 Chapter 4	児童に多く見られる危険行為を意識させるとともに、模範的な思いやり行動について指導します。
木	約4分30秒 Chapter 5 Chapter 7	自転車を利用するうえで、知っておきたい標識を学習します。歌とまとめのチャプターで全体の内容を整理してください。
金	約5分 + 約5分 おさらいシート学習	おさらいシート学習を5分行い、残り5分で児童の答えを挙手などで確認、指導します。

授業参観での活用例

普段の生活においても重要度の高い交通ルールを、親子で相互確認できる絶好の機会です。DVD視聴、おさらいシート学習に加え、親子ディスカッションで安全な自転車走行や思いやり行動を共有しましょう。

約21分

DVD視聴
Chapter 1
Chapter 7

DVD全編を通して視聴します。長時間になるので、児童の飽き、理解不足を感じた時は、その都度、声かけや補足説明をしてください。Chapter2~5が特に重要度の高い項目になります。

約10分

おさらいシート学習

おさらいシート学習を行い、挙手などでみんなで答え合わせをしましょう。

約15分

親子ディスカッション

先生が重要事項のまとめを解説。おさらいシートをもとに、保護者の方も交えて親子で交通ルールを再確認しましょう。自宅付近や通学路などの危険な場所について、お子さまといっしょに確認するように呼びかけましょう。

指導にあたる前に

自転車における 学んでおくべき基本的な交通ルール



自転車は車の仲間ですが、13歳未満は歩道を走ることもできます。自転車を運転する時は適切な交通ルールを身に付ける必要があると同時に、歩道を走るときは歩行者のことを考えて行動しなくてはなりません。道路を利用する人全員が安全かつ気持ちよく通行するために、正しい交通ルールを指導してください。

1 自転車の正しい知識を身に付けさせましょう

ヘルメットの着用

Chapter3でも実験を行っています。ヘルメットは万一の時に大切な頭を守ります。自転車に乗るときはヘルメットを着用し、また、あご紐を外したり、緩めたりせず、きちんと締めて固定させるように指導してください。

乗車前は必ず点検

点検のポイントは、Chapter3、おさらいシートで説明している通りです。児童との視聴前に必ず目を通して、親子で点検するように指導してください。また、不具合があった場合は、右のマークのある自転車安全整備店に整備に出し、不具合がない場合も年に一度は、点検・整備を受けるよう呼びかけましょう。



正しい発進と停止の仕方



見通しのよい道路の左端で自転車の左側からまたがり、後ろと前の安全を確認します。車が来ていないことが確認できたら、ふらつきに注意して発進します。



安全を確認し、十分にスピードを落とします。道路の左端で左足を地面につけて停止し、自転車の左側へ降ります。

2 こんな時は押して歩くように指導しましょう

歩道で歩いている人がいる時

歩道を自転車で通るときは、車道寄りゆっくり走ります。歩行者の邪魔になりそうな時は一度止まるか、自転車から降りて押して歩きます。人と人の間をすり抜けたり、ベルを鳴らしての走行はしてはいけません。



3 自転車に乗る時に必要な標識・標示を教えましょう

標 識		標 示	
	自転車専用通行帯 車道を走るときは自転車はここを通ります。		横断歩道・自転車横断帯 この標識の近くには横断歩道と自転車横断帯の両方があることを示しています。
	一時停止 一時停止して左右の安全を確認してから進みます。		自転車横断帯 この標示がある所で横断しようとする時は、ここを渡ります。

4 危険運転は絶対にやめさせましょう

	安全不確認 狭い道から広い道に出るときは、手前で一時停止して、見通しがいよい所までゆっくり進み、左右の安全確認をします。後方の安全確認も忘れずするように呼びかけましょう。		並進 友達といっしょに走るとき、横に並んで話をしたり、ふざけあってはいけません。歩行者にぶつかったり、後ろから来る車と衝突する危険があります。縦一列になって、自転車2台分くらいの間隔をあけて走るように呼びかけましょう。		手放し運転 バランスを崩してふらついたり、転んだりする危険があるので、絶対にハンドルから手を放してはいけません。手放し運転を自慢にする児童もいるので注意を促しましょう。		無灯火運転 ライトは前方を照らすとともに、他の人に自転車の存在を知らせるためのものです。薄暗くなってきたら、早めにライトを点けることが大切です。また、反射材を付けるとより安全であることを呼びかけましょう。
--	--	--	--	--	---	--	---

DVDの収録内容

DVD全編に収録されている内容を紹介します。児童に視聴前の案内をする際に役立ててください。

Chapter 1 こんな時に起きている! 約2分

小学生の交通事故

「安全を確認せずに進路変更をする」「交差点で一時停止しないで飛び出す」「赤信号を無視する」など、小学生に多い事故原因を呼びかけ形式で伝えます。また、自転車は車の仲間であること、歩道では歩行者が優先であることなどを理解させます。



Chapter 3 実験/点検 約4分

ヘルメットと自転車点検

実写による実験映像で、ヘルメットの重要性を伝えます。また、自転車点検の合言葉「ぶたはしゃべる」を教えるチャプターです。特に点検に関しては、先生が補足指導してください。



Chapter 5 クイズ 約2分

わかるかな? この標しき

自転車に関する標識をクイズ形式で教えます。正しい標識の意味を理解させるとともに、通学路に該当の標識があるかを問いかけ、普段からしっかりと標識を守ることを指導してください。



Chapter 2 きけん予そく 約5分30秒

友達の家に安全に行けるかな?

友達の家に行くまでの模擬経路を紹介。横断歩道、信号機のある交差点など、さまざまな場面における危険行為と安全な運転を二択クイズ形式で教えます。交通ルールを守ることの必要性を感じ取ってもらいましょう。



Chapter 4 きけんな運転 約5分30秒

ルールとマナーを守って安全運転

並進や手放し運転、無理な横断など、児童に多く見られる危険行為を、再現映像を用いて伝えます。安全を守るための正しい運転を教えるとともに、思いやりのある運転を促し、交通ルールとマナーに対する理解を深めます。



Chapter 6 歌とおどりで覚えよう! 約1分30秒

ぶたはしゃべるラップ!

飛び出しや信号無視の禁止、安全な行動の仕方を歌詞に盛り込んだ「ぶたはしゃべるラップ!」を紹介。http://www.ja-kyosai.or.jp



※詳しい振り付けはHPでも紹介しています。

Chapter 7 約1分

まとめ

「交通ルールを守ろう」「周りの人にも思いやりを持とう」「覚えたことを家族にも教えよう」と児童に語りかけ、安全意識の定着化と安全行動の実践化を図ります。



ひとめでわかる! チャプターのポイント 児童に 正しく伝えるためのポイント

各チャプターの大切なポイントをまとめて紹介します。映像を見ながらの確認用として、また、見終わった後の復習用としてご活用ください。

Chapter 1 こんな時に起きている!

小学生の交通事

ポイントCheck!

1. 自転車に乗る時に注意すべきこと

- 安全を確認せずに進路変更をしない
- 交差点で一時停止せずに飛び出さない
- 信号無視をしない

2. 自転車で歩道を走る時に守ること

- 歩道を走る時は車道寄りをゆっくり走る
- 歩行者のじゃまになりそうな時は、一度止まるか、自転車から降りて押して歩く

解説

自転車は車の仲間なので、車道を通るのが原則です。ただし、13歳未満は歩道を通ることができます(このDVDでは、児童にわかりやすく「12歳まで」と表現しています)。また、歩行者のじゃまになりそうな時は、一度止まるか、自転車から降りて押して歩くように指導してください。

Chapter 3

実験/点けん

ヘルメットと自転車点けん

ポイントCheck!

□ 実験「ヘルメットと卵」

実験内容

ネットなしの卵を落とした場合とネットで包んだ卵を落とした場合、それぞれどうなるかを比較します。

▶ 結果

ネットなしの卵は割れ、ネットで包んだ卵は割れません。

解説

実験結果のように、転倒した場合、頭に受ける衝撃を和らげてくれるため、自転車に乗る時は必ずヘルメットをかぶるように指導しましょう。ただし、あご紐を緩めていると、簡単に脱げてしまうため、あご紐をきちんと締めおく必要があります。また、あご紐をきちんと締めておく必要があります。

- 自転車のどこを点検すればいいのかを表わす合言葉「ぶ・た・は・しゃ・べる」を覚えましょう

ぶ プレーキ...

左右のブレーキがきちんと効くか確かめます。

た タイヤ...

タイヤの空気が抜けていないか、タイヤに傷がないか、すり減っていないか。また、スポークが壊れていたり、抜けていないかを確認します。

は ハンドル...

ハンドルを上から見て、曲がったり、歪んだりしていないかを確認します。

しゃ 車体...

サドルは乗った時、足の裏の半分が軽く地面につく高さにします。チェーンは回してみ、チェーンカバーに当たらないか、ライトは点くか、そして、反射器材が壊れていたり、汚れていないかも確認します。

べる ベル...

ベルを鳴らし、きちんと音が出ることを確かめます。

Chapter 5

クイズ

わかるかな? この標しき

ポイントCheck!

大切な意味を持つ道路標識

- 自転車専用通行帯



解説

「車道を通る時には、自転車はここを走りましょう」という標識です。

- 横断歩道・自転車横断帯



解説

この標識の近くには横断歩道と自転車横断帯があることを示しています。自転車で渡る時は自転車横断帯を渡らなければなりません。

- 一時停止



解説

「一時停止しなさい」という標識です。交差点や大きな道に出る所などにあり、いつ車が来るかわからないので、「きちんと止まって、安全を確認しなさい」という意味でもあります。

Chapter 6

歌とおどりで覚えよう!

ぶ・た・は・しゃ・べるラップ!

歌詞

ぶ た は しゃ べる
道路に出る時 GO GO GO
でも キュウな トビダシ DAME DAME DAME!
一度 止まろう! VERY GOOD
サユウをよく見て こぎだそう (OK!)



ぶ た は しゃ べる
シンゴウムシは DAME DAME DAME!
用心 用心 ミギヒダリ (GOOD!)
安全 たしかめ さあ どうぞ!
でも スピード出しすぎ DAME DAME DAME!

ぶ た は しゃ べる
楽しく乗ろうよ バイシクル! (オーイー!)
みんなといっしょに サイクリング!
でも フザケたり手放し DAME DAME DAME!
お先に どうぞ おたっやで! (See you!)



Chapter 1 (約2分)

Chapter 2 (約5分30秒)

Chapter 3 (約4分)

Chapter 4 (約5分30秒)

Chapter 5 (約2分)

Chapter 6 (約1分30秒)

Chapter 7 (約1分)

Chapter 2

きけん予そく

友達の家に行けるかな?

ポイントCheck! 二択クイズ

- 問題1 歩行者が多い横断歩道を渡る時、「自転車から降りて押して渡る」と、「ジグザグ運転して渡る」とではどちらが安全?

▶ 正解 自転車から降りて押して渡る

解説

横断歩道は、歩行者が道を横断するために設けられたものです。歩行者のじゃまになりそうな時は、自転車から降りて押しながら歩行者と同じように歩いて渡るようにしましょう。ただし、自転車横断帯がある場合は、そこを自転車に乗ったまま渡ることができます。

- 問題2 青信号が点滅している横断歩道を渡る時、「車が来ないか確認して急いで渡る」と、「止まって次の青に変わるまで待つ」とではどちらが安全?

▶ 正解 止まって次の青に変わるまで待つ

解説

青信号の点滅は渡り始めてはいけないという意味です。横断歩道を渡る前に青信号が点滅を始めたら、止まって次に信号が青に変わるまで待つようにしましょう。急いで渡ろうとすると、車が急に曲がってくることもあるので危険です。

- 問題3 見通しの悪い交差点を曲がる時、「止まらず進む」と、「曲がり角の手前で止まる」とではどちらが安全?

▶ 正解 曲がり角の手前で止まる

解説

両側に垣根がある見通しの悪い交差点では、車が来ているかどうか確認ができません。自転車では止まらずに進むと、垣根の陰から車が来て衝突する危険があります。危険を回避するためには、曲がり角の手前で一度止まって、左右が見える所までゆっくり進み、左右を確認してから曲がるようにしなければなりません。また、後ろから車が来ないかを確認することも大切です。



Chapter 4

きけんな運転

ルールとマナーを守って安全運転

ポイントCheck!

- 友達といっしょに自転車で走る時は、横に並ばず、縦一列になって走る

解説

自転車を運転中、ふざけたりして友達と横に並んで運転していると、後ろから来る車と衝突する危険があります。友達といっしょに走る時は、縦一列になって、自転車2台分くらいの間隔をあけて走ります。

- 手放し運転をしない

解説

ハンドルから手を放して運転すると、バランスを崩してふらふらしたり転んだりする危険があります。走行中の車と接触する危険もあるので絶対にしないように指導しましょう。

- 無理な横断をせず、横断歩道を正しく渡る

解説

「青信号が点滅しているから」「急いでいたから」と無理な横断をすると、走ってくる車と接触する危険があります。横断歩道がある所では、速回りと感じても、必ず横断歩道を渡るように指導しましょう。

- 外が暗くなってきたら、早めにライトを点ける

解説

外が暗くなると車を運転する人から自転車が走っていることが確認しにくくなるため、危険です。早めにライトを点けること、前輪と後輪に反射材を付けることが大切です。また、ライトがきちんと点くかどうか、常に点検する必要があります。

- 歩道を走る時は、車道寄りをゆっくり走り、歩行者がいたら一度止まるか、自転車から降りて押して歩く

解説

歩道は歩行者優先。スピードを出すと歩行者にぶつかる危険があります。また、歩行者に向かってベルを鳴らしてはいけません。ベルは緊急の時に自転車の存在を知らせるためのものです。

- 点字ブロックの上には自転車をとめず、決められた場所にとめる

解説

街で見かける黄色いブロックは「点字ブロック」といい、目が不自由な人が安全に歩くために必要なものです。点字ブロックの上には自転車をとめると、目の不自由な人が歩いてきた時にぶつかってしまいます。自転車は決められた場所にとめるように指導してください。

Chapter 7

まとめ

ポイントCheck!

- 自転車に乗る時は交通ルールを守ること
- 歩行者や車を運転する人、目の不自由な人など、周りの人にも思いやりを持つこと
- 家族に教えるなどして、きちんと忘れずに覚えること

